

特集

商店街の よりよい 組織づくり

会長ひとりに負担をかけない商店街運営

昨今「会長の後任が見つからない!」という問題に直面している商店街が増えています。厳しい商店街環境が続く中、各個店は時間や人手に余裕がなく、商店街活動までなかなか手が回らない、というのが現状かもしれません。とはいえ、このまま会長ひとりに多大な負担をかけてしまっているのでしょうか。

会長職は商店街リーダーであり、いわば地域の顔役のような存在です。商店街全体の取りまとめや外部との折衝に専念することこそが大事な役割であり、会長が商店街活動や事務作業までもこなさざるを得ない状況では、会長職の本来の魅力が半減してしまいます。これでは会長の後任はみつからず、商店街が立ち行かなくなる、ひいては存続ができない、という悪循環にも繋がりがかねません。

商店街は会員全員の集合体、皆で支えるべき組織です。今こそ役員を中心にやるべき業務を分担した組織づくり、商店街のチームワークを高めることが急務です。

関係先からの郵便やファックスの受け取り、コピー印刷、回覧という事務仕事から、会合開催には、会場の予約、お知らせ、会議の資料作り、さらに街路灯やフラッグの管理、各種申請・報告…と、細やかな業務の積み重ねの先に充実した商店街活動があります。会長やごく一部の会員でこのような業務をこなすのは不可能であり、情報伝達や運営そのものに支障が出てしまうケースも珍しくありません。事務員さんのいない商店街は、ことさら会員の役割分担が重要になってきます。今号では、「商店街はみなで支え合うもの」という心意気で、小さくても魅力ある商店街づくりを可能にしている2つの商店街を紹介します。

都筑区 えだきん商店会 P02

東急田園都市線江田駅からバスで荏田南下車、徒歩5分ほどの住宅街にある商店街です。手入れの行き届いた季節の花々で溢れるレンガの散歩道と広場の周囲に店舗が立地する安心安全な環境は、地域の皆さんの憩いの場にもなっています。

「花*花まつり」、商店街プロレスも誘致する「夏まつり」「ハロウィン」「朝市」「屋台村」などのイベントを開催しています。ゆるきゃら「えだきんぎょ」も賑わいづくりに一役買っています。



東京都・新宿区 オレンジコートショッピングセンター会 P03

JR高田馬場駅とJR新大久保駅の真ん中に位置する「オレンジコートショッピングセンター」内の店舗で構成される商店街です。かつては盆踊りなどの大きなイベントも開催していましたが、「毎日していただくお買い物に、楽しい仕掛けをすることに力を注ごう」と、年7回の売り出しや抽選、くじ引きに特化し、好評を得ています。また同時期には、商店街運営の役割分担も明確にしました。



集金業務の大変さを知ってもらおうと、商店会費の集金は全店で持ち回るといった仕組みを構築、会員全員の力で集客アップに向けて頑張っています。

横浜市商連機関紙(年3回発行)

よこはま 市商連

No.179 2017年(平成29年)
5月号

発行 一般社団法人 横浜市商店街連合会
発行人 石川清貴
〒231-0048 横浜市中区青葉町2-4-1 横浜大通り公園ビル5階
TEL045-250-6613 FAX045-262-2077

制作 場所づくり研究所(有) プレイス
<http://www.yokohama-syoutengai.com/>

第14回 横浜F・マリノス

天野 純 選手
&
磯子区
プララ杉田専門店会会長
生花店「フローリスト花だより」
佐藤 祐治 さん

©Y.F. MARINOS

都筑区 えだきん商店会

会員数
20

困ったことは真庭会長が助けてくれる、という安心感が各会員の商店街活動を積極的なものにしていきます。大好きな商店街を末永く残すために自分ができることは何か、という視点で役割分担、また、その役割を経験することで、さらに会長や商店街への愛着を生む、という良い循環ができています。



真庭会長(就任25年)
サービス業「(有)真庭商事」

会長としては楽をさせてもらってますね。背負い込まず、出しゃばらず、の名ばかり会長です(笑)。だから長きにわたり務められています。「やるべきことをみんなで分担する」という雰囲気はずっと昔からです。小さな商店街ですから助け合わなければ運営が立ち行かなくなることを各々がよくわかってきているんでしょう。みんなが商店街を大事に思ってくれていると感じています。

イベント当日は会員を核として、商店街を応援してくれる地元自治会の皆さん、地域団体のみんながよく動いてくれるんです。その分僕は楽しみながら裏方に徹し、関係先への挨拶や、お客さまや子どもたちへの声かけに気を配って、イベント全体を俯瞰的に見ることができています。

何事も一所懸命頑張ってくれている会員の気持ちを大事に、とにかくチャレンジしてもらいます。何かあれば僕に言ってくれ、ということだけはいつも言っています。最後の責任は会長にありますから。



高橋さん(会計・花壇管理)
理容室「ファミリーサロンKEN」

出来るだけ現金は持ち合わせず、お金の出し入れが通帳でわかるように集約して、月ごとに残高は合わせています。外出ができる業種ではないので、店にしながらできる会計を担当させてもらっています。また、商店街に来てくださったお客さまをお花でおもてなしするための花壇すべてを維持管理しています。都筑区のハマロードサポーターにも登録、地域の方にも声をかけてお手伝いいただき、交流できるのも楽しみのひとつです。

会長とのパイプ役、イベントの統括が主な仕事です。開店ほどなく夏祭りや朝市を企画運営させてもらったのがきっかけで就任しました。イベントも僕ひとりですべて行うのではなく分担しています。例えば、自治会にお餅つきのご協力いただく「花*花まつり」では、地域とのお付き合いの長い高橋さんに主だって動いていただいています。「えだきんぎょ」も地域団体がすべて運営してくれているので頻繁な活用が可能になっています。イベント開催は人が来てくれるか、事故は起こらないか、と緊張感は常にありますが、任せてもらえることでやりがいを感じています。商売の繁忙期と商店街の業務が重なると大変なので、スケジュール管理、早めの早めの準備を心がけています。



宮原さん(副会長兼企画担当)
生花「FLOWER GIFT SHOP YUU」



内野さん(広報)
酒と米「うちの」

イベントのポスター、チラシの発注、新聞折込の手配、ホームページ更新の依頼をしています。近隣へのポスティングや掲示物は会員で手分けして回っています。あとは情報発信の管理ですね、会員4人でイベントの様子や四季折々の写真をフェイスブックにアップしています。みんな、商店街の賑わいづくりになるならできることはやっぺいこう、という気持ちだと思います。



船橋さん(総務)
喫茶・軽食「Asuta Cafe」

会長が届いたファックスやお手紙を届けてくれます。その書類管理、各所への返信、補助金申請・報告などを担当しています。また、会議などの議事録作成を担当しているのですが、会長や宮原さんに内容をチェックしていただけるので不安なく取り組んでいます。議事録の配布は、うちの障害者自立支援活動の一環として従業員で分担しています。お届けにあがることで顔や名前を覚えてもらい、商店街で会った時に声をかけてもらえるなど、ありがたい機会になっています。

るだけでももったいないです。商店街活動を通して日々の商いと異なる経験を積み、見れば、商店街やまちそのものの未来を考えられるリーダー育成に繋がっていきます。歴代の商店会長たち。「いつかは商店会長になって商店街を支えるぞ!」と若手が商店街活動すればいけません。

東京都新宿区 オレンジコート ショッピングセンター会

会員数
27

小菅会長は商店街をチームととらえ、トップでありながらパイプ役に徹しています。新しい会員には商店街でうまくやっていけるようルールやしきたりを折に触れて伝え、仲間として歓迎します。会員はその恩返しに、と商店街活動に自然に参加していきます。古くからの会員の力とうまく融合し、それぞれが力を発揮できる組織づくりを可能にしています。

会長は4代目ですが、「内部の団結を大切に」という意識は先代たちから脈々と受け継がれています。商店街という舞台上で演者は会員の皆さん、気持ちよく働いていただけるよう、どんな役が合っているかを考えてお願いします。その総合プロデュースが会長の役目だと思っています。商店街には才能をお持ちの方がたくさんいますから、適材適所で、女性ならではの、若い人ならではの、新しい人ならではの視点やそれぞれの考え方を尊重してお任せしています。女性役員お二人の存在にもすいぶん助けられています。会員が困っていないか、業務の負担が偏ってしまっていないか、などにはいつも目配りしています。特に、うちの商店街を選んで出店してくれた新規店舗がスムーズになじめるよう、私が一緒に行って会員に顔合わせします。商店街が末長く続くためには、全てが「人」。大事な仕事はその種まき、「人育て」だと思っています。



小菅会長 (就任5年)
調剤薬局「コスガ薬局」

イベント景品の発注や仕入れ、また、イベント時の写真撮影をしています。他地区での店舗経営もしており留守がちなのですが、忙しいなかでも担当していることをキッチリこなしている先輩たちの姿勢に感化され頑張っています。オレンジコートに開店して11年、この4月から副会長になりました。実力はまだまだですが不安はありません。みんなが必ず助けてくれる、と信じているから受けられる。一生懸命やろうって思えます。



間宮さん (副会長・外渉部長)
通信事業「KSI金城インターナショナル(株)」

経理全般は主人で私は日々の会計と、さらに家庭内で役割分担しています。外出はできないので信用金庫さんに入出金の訪問をお願いします。またイベントは、装飾や景品に季節感が出るように、自分自身も楽しみながらお客さまの笑顔を思い浮かべて企画しています。「あの商店街の雰囲気が好き」、そう感じてもらえたら嬉しい。小さくても末永くお客さまに愛される商店街でありたいです。



吉瀬さん (経理部長・イベント企画)
美容室「sara」

間宮さんと同じく、イベント景品の発注や仕入などを行なっています。また男手が必要な作業の声かけですね。分担してフラッグやポスターを配布、掲示してもらいます。僕は3代目なのですが、動ける人は動く、という雰囲気が継承され、新しい方も皆さん協力的です。そろそろ経理業務を若い世代に継承する、ということで今期から経理もお手伝いしながら勉強します。



赤坂さん (副総務部長・経理補佐)
理容「アカサカ」

ポスターやチラシのデザイン・編集担当です。デザインソフトを持っていたことが担当のきっかけでした。うちのチラシは独特で、定型の書き込み式原稿依頼書を各店に配り、手書きで作ってもらい、僕がレイアウトするという流れです。自店のPC作業なので時間を見つけて進められています。新しいお店も増え、そのお客さまがウチに来てくれるようにしたい。その逆ももちろんそうです。そんな回遊を生むためにも広報は大事にしています。



宮下さん (広報担当)
雑貨店「マイ・ボシエツ」

補助金申請、区商連や役所の窓口、売り出しなど年7回のイベント運営管理をしています。申請作業は苦勞することもあります。それが商店街の賑わいづくりに直結しているので、やりがいはあります。小菅会長が前総務部長だったので、なんでも相談ができるという安心感も大きいですね。イベントでは、「あの景品よかったわ。」なんて感想を直接聞けることも頑張れるモチベーションのひとつ、お客さまの笑顔にちゃんと繋がっていることが実感できます。



相沢さん (総務部長)
Tea&Sweets「COCOONこくーん」

商店街活動は「やらざるを得ない」業務を負担しあう、というマイナスのイメージを持って知識や人間関係を広げることは自身を成長させてくれます。やがて自身の商売の可能性も広商業者として地域の商業基盤を支え、地域や行政、外部団体と信頼関係を築きあげてきた動の経験を積み、満を持して会長職が後継されていく、そんなサイクルを作り上げていかな

区商連会長による うちの区紹介します!

Vol.7



瀬谷区商店街連合会会長
石垣 徳知
道都駅弁
「リカース イシガキ」

西の玄関口

瀬谷区は南北に5本も川が流れ、緑豊かな区です。水辺での散歩や釣りも楽しめ、野鳥も多く見られます。身近に自然を満喫できるし、子育てにもとてもいい環境ですよ。昨今は子育て支援施設も増え、若い世帯の流入を感じています。24年越しの瀬谷駅再開発事業が進捗し、2026年には米軍上瀬谷通信施設跡地での花博開催計画もあり、「横浜の西の玄関口」として大きな賑わいが期待されています。それを追い風と捉えて地元商店街が賑わいの波に乗れるかどうか勝負どころだと思います。

地域と共に生きる

商人が自分の商売だけ頑張っていればよかつた時代は終わりました。商店街から積極的に自治会や行政に歩み寄って力を借り、商店街が牽引して地域全体を盛り上げていかなければいけません。永年の地域との信頼関係は大型店に絶対負けないはず。瀬谷区では商店街が震災復興の募金を集めたこと

がきっかけとなり、岩手県大槌町に漁船「瀬谷丸」を贈ることができました。現状を嘆いているより、地域と共に地域のために動く、商店街の活性化はその先にあるものと思っています。

出会いと経験は宝になる

僕自身、商店街はもちろん、商工会や地域活動での出会いや経験で自分が磨かれ、人生豊かになりました。年がら年中「石垣さん来てー!」なんて声がかかる(笑)、忙しいけど嬉しいものです。三ツ境にも商店街活動に関わってくれる若い会員たちはいますが、立ち並ぶ大型店の影響で個店は疲弊し、人手も時間も余裕がない中、やりくりして頑張ってくれている、というのが現状です。商業も年中無休、深夜営業などが見直され、このような出会いと経験を横線で本当の意味の豊かさを取り戻してほしいです。

これからの商店街

うちの商店街も物販店が減り、飲食店が増えてきました。飲食店がこれからの商店街を支える主流の業種のひとつになるでしょう。実際、商店街イベントに積極的に出店してくれるところも多く、高売へのパワーを感じています。もともと皆さんの飲食店から商店街活動への意見やアイデアを聞いていきたいです。飲食店を始め、夜にお店から出る事ができない業種も増えていますので、役員会の時間を日中に変えていくなども今後の課題だと思っています。

会長
一押しのお店!

卵かけご飯専門店 **たまごcaféごはん** (瀬谷銀座通り商店会)
瀬谷区瀬谷4-9-1 TEL 301-5505

昨年10月、昔ながらの商店街にとびきりおしゃれなカフェが出現しました。木の温かいぬくもりを感じられる店内には優しい時間が流れています。



大好きな地元で頑張りたい

オーダー家具や内装工事を手掛ける会社も経営するオーナーの櫻庭あかねさん。自社の家具を生かした心地よい空間を作りたい、という「住」へのこだわりで、15年以上も通う南魚沼で魅了された米の美味しさを伝えたい、という「食」への強い思いで起業しました。瀬谷区内の商店街エリアでお店を構えようと決めていたのは、高売に浮き沈みがあったり、でも大好きな地元でなら頑張っていけると思ったから。「商売をさせてもらう地域には高売で恩返しをする」という初心をぶらすことなく頑張りたいそうです。

地産地消で地域貢献

こだわりの生卵に魚沼産「シヒカリ」、4種類のかけ醤油で味比でも楽しめます。看板商品の「卵かけご飯」に特化しながらも、卵料理、唐揚げ、スイーツなども提供し、幅広い年齢層に支持されています。「卵かけご飯専門店って?」って興味を持っていただけるようですね(笑)。今後商店街からの仕入れを増やしていきたいです。区内、商店街内の地産地消を進めて、地域貢献として共存共栄の一端を担えたらと思っています。」と話す櫻庭さん。今は商店街内のお肉屋さんから鶏肉を、区内の麹屋さんから味噌を仕入れています。

商店街の底力

開店ほどなく商店街のハロウィンイベントに参加し、あんなにたくさんの子どもたちを楽しませてあげることができると、商店街という場の大切さ、底力を実感させられたそうです。「子どもたちの笑顔を生み、成長を見守っていただけるようなお店になりたいと思っています。商店街の力を借りながら新しいお客さんと呼び込めるお店にしたいですね。」と櫻庭さん。

今期より商店街の理事にも挑戦することになった櫻庭さん。今後、商店街内部にも活力をプラスしてくれることでしょう。

